

原稿

「ぼくがまもるんだ」 作者 neneco

- ① ピコン！ばあちゃんのスマホにメールが来た。
- ② スマホを見たばあちゃんがおろおろ、おろおろ
家の中をひっきりなしに歩き回るから楽しかったゲームにも集中出来ない。
たまたま僕は「どうしたの？」って聞いた。
- ③ 「なんだかねえ【宅配便を家に届けに来たけれど、家に誰もいなかったから持ち帰った
のでもう一度配達の設定をしてください。】ってメールが届いたのよ～。
だけど、今日一日中家にいたけれど、家には誰も来ていないのよねえ。」
おかしいわ～？と言いながらまた、おろおろ家中を歩き出した。
- ④ ふーん
僕には良く分からなかったから、適当に返事をしてしまった。
けど、宅配便は知っている。
パパもママもよくスマホのインターネットで注文してトラックが家の前に来て
.....
注文した物を届けに来てくれるんだ。
- ⑤ あれ・・・？注文したものを届けに来てくれる・・・？
僕はハッとしました。
「ばあちゃんは、何かインターネットで注文したの？」
- ⑥ 「インターネットは良く分からないからねえ。そういうのはしないわ。」
「あら・・・？注文もしていないのになんでこんなメールが私に届いたのかしら？」
- ⑦ 「これってもしかして悪いメールなんじゃない！？」僕はそう言って
パパとママにも聞いてみる事にした。
- ⑧ これは詐欺メールだよ！
ばあちゃんのスマホを見てパパは慌てて確認をした。
- ⑨ このメールにあるURL（ゆーあーるえる）っていうのを押しちゃうと
ばあちゃんの電話番号や、名前や、どこに住んでいるかとか
ぜーんぶ、悪い人たちにバレちゃうんだって！

- ⑩ 悪い人にバレちゃうと すごく大変な事になっちゃうらしいよ。
- ⑪ お父さんは「よく気付いてくれたな！」って褒めてくれた。
お母さんは「すごいね！」って頭を撫でてくれた。
- ⑫ ばあちゃんには「ばあちゃんを守ってくれてありがとう。」ってお礼を言われた。
- ⑬ 僕はなんだか くすぐったくて ニコニコ顔が止まらなかった。
もしまた、悪い奴からメールが来たら僕が守ってあげるんだ。